

## グリーティング

久しぶりにやって来た弟と、温泉でゆっくり温まった帰りのことです。きらめく夜空の星にしばし見とれていました。「あっ、昴(すばる)が見える!!」弟が突然叫びました。北斗七星やオリオン座くらいしか知らない私は、詳しく星空の話をする弟に少し驚き、又少し誇らしく思いました。6才下の弟から冬の星座についてこんなにしっかりていねいに教えてもらえるとは……。

ちなみに昴は、おうし座の中の数百の星群をいい、肉眼で6コは見えるのです。清少納言も枕草子の中で「星は昴・・」とたたえる程、昔から愛されていたのです。今夜あたり夜空を見上げてみませんか。まだ冬の星座は輝いています。 S.K



## 技工情報

### ～CR操作における研磨・表面性状～

あるドクターとの打合せの中で、チェアサイドで行われるCR操作のお話が出て、技工サイドのレジン素材の研磨・表面性状のお話をしたところ、とても参考になるとのお言葉をいただきましたので、その時お話しした内容を紹介させていただきます。

#### CR研磨時における研磨材料選択のポイント

- ・CR用のシリコンポイント及び研磨剤の含有されたブラシを使用する。
- ・使い分けのポイント

|          |   |                                   |
|----------|---|-----------------------------------|
| シリコンポイント | } | ・広い面の場合には適切だが、表面性状をなくしてしまう可能性がある。 |
| ブラシ      |   | ・研磨剤が含有されているので、表面性状が付与された場合に適切。   |



オクルーブラシ レギュラーカップ  
スモールカップ  
ポイント

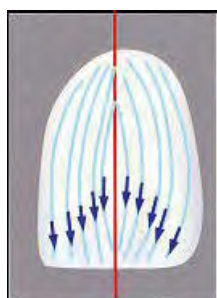
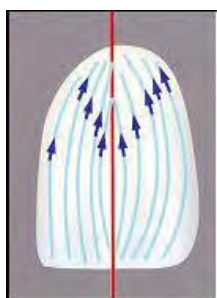
#### 形態付与でのポイント(上顎中切歯の場合)

中心ラインを境目に、円弧を描く様に、切端からマージン部に向け小さなポイントで力を入れずになぞっていく。

その後溝の入り方を均一にする為、マージン部から、切端方向に向けて、円弧を描く。

横走溝の付与は、円を描く様に、切端の近心部から遠心方向へ、バーを当て、マージン方向に向けて繰り返す。

その後、溝の入り方を均一にする為、マージン部遠心から、近心方向へ円を描く様にゆっくりと切端に向かって、バーを進める。



- ※ 横走溝 ⇒ カーバイトバー・ラウンドプレーン # 1、# 2 マニー  
縦ライン ⇒ ダイヤグロス(エデンタ、モリタ)  
セラムダイヤ(ケーディーエス、マージンツール中央マニー)等を使用ください。

次項へつづく

## 形態付与でのポイント(臼歯の場合)

凹凸がある為、形成後の研磨というよりも、滑沢な表面になる様にしてから重合させます。



隆線や、裂溝に関しては、毛先の細い筆などを用い、きれいになぞってから重合を行う。

バー等を使う場合は、プレーンタイプのカーバイトバー(マニー、カーバイトバーF4、フィニッシング)で、ゆったりと形成する事で、形態修正を行う事で、おおむね研磨も行える。

研磨以外の表面処理方法として・・・

## 表面滑沢剤の併用

表面滑沢剤の使用により、表面性状の保護や、着色の回避を期待できます。

<例>ダイナシール(クラレノリタケデンタル)  
サーフィスコート(クラレノリタケデンタル)  
Gコート(ジーシー)



但し、着色に関しては、レジンのオーバーマージン部に着色が起こる為に考えられます。従って、オーバーマージン部に接着処理がなされていない場合、接着性モノマーが入っていない表面滑沢剤を使い、隙間を埋めても、歯質とは接着しない。



オーバーマージンによる接着を表面滑沢剤で回避するのであれば、接着性モノマーの入っているもの、Gコート(ジーシー)がおすすめです。